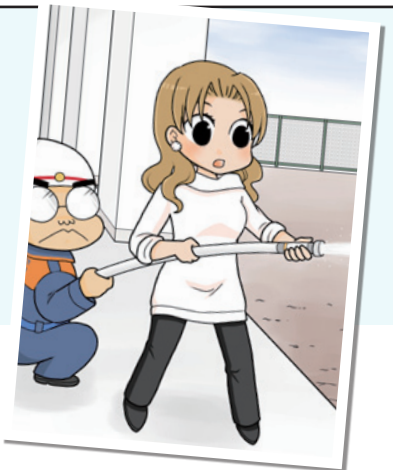


それゆけ! ほむらくんの 実践防火講座!

第14回 屋内消火栓設備

文:よしむら りよた 絵:おぎの じゅんこ

今回は、火災発生時に施設関係者が消火のために使用することができる「屋内消火栓設備」について説明します。



消火器とかスプリンクラー設備以外にも火災の時に使うものってあるの?



広範囲型2号消火栓 1号消火栓
易操作性1号消火栓 1号消火栓

施設の関係者が、消防隊のようにホースを使って放水して消火する設備として、「**屋内消火栓設備**」があるぞ。
自動で消火するものではないが、燃えている物を狙って消火できるんだ。



どんな設備なの?



易操作性1号消火栓 (1人でも操作ができる)

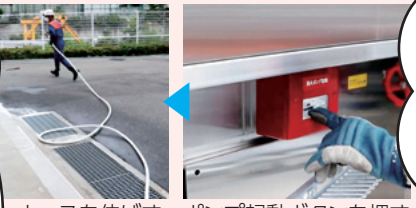


1号消火栓 (2人で操作する)

屋内消火栓設備にはいくつか種類があって、一人で操作する「**2号消火栓**」、一人でも操作ができる「**易操作性1号消火栓**」「**2号消火栓**」「**広範囲型1号消火栓**」があるんだ。



使い方とか注意する点はあるの?



ホースを伸ばす ポンプ起動ボタンを押す



バルブを開く



- ① 消火ポンプの起動ボタンを押す
 - ② ボックスからホースを出して伸ばす
 - ③ バルブを開いて放水する
- という手順なんだ。

使用方は1号消火栓の場合、2号消火栓などの一人で操作する消火栓は、バルブを開くと同時にポンプが起動するから起動ボタンはないぞ。
また、事前にホースを伸ばす必要もなく、ノズルの操作で水を出したり止めたりすることもできるぞ。

なお、1号消火栓では、ポンプの起動ボタンを押さないと水が出ないので、注意が必要だ。いろいろな種類があるが、使い方は屋内消火栓ボックスの中に書いてある場合が多いので、まずは自分の施設にある消火栓を調べてみよう。



操作方法詳細



過去の実践防火講座



今までいろいろな消防用設備の使い方や、防火に関するなどを勉強してきたが、実際に火災が起きたら、知識だけでは対応は難しいだろう。
まずは定期的に実施される訓練で、実際に設備に触れたり、操作方法を復習して、火災が起きた時には被害を最小限に食い止めてほしい。

ほむらくんの チェックポイント!



【関係法令】

- ・ 消防法施行令第11条
- ・ 消防法施行規則第11条の2、第12条
- ・ 神戸市火災予防条例第37条

【設置が必要な防火対象物等】

- 延べ面積500平方メートル以上
劇場、映画館集会場等
 - 延べ面積700平方メートル以上
飲食店・物販店・共同住宅・学校・工場・倉庫等
 - 延べ面積1000平方メートル以上
神社、事務所等
- ※ 建物の構造や内装制限により変わります。

【主な基準】

- * ホース接続口までの水平距離
- 1号消火栓等 25メートル
- 1号消火栓 15メートル
- * 放水性能
- 1号消火栓等 0.17メガパスカル以上
- 1号消火栓 0.25メガパスカル以上
- * 放水量
- 1号消火栓 130リットル/分以上
- 1号消火栓 60リットル/分以上
- 広範囲型2号 80リットル/分以上
- * 放水可能時間 約20分以上

【その他】

放水後はポンプを手動で停止させる必要があります。